

| | | |
|----------|-----------|--|
| 提出 順番 | No. 10 | 令和 4 年 6 月 3 日 午前・ 午後 2 時 15 分受領 |
|----------|-----------|--|

令和 4 年 6 月 3 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 |
|---------------------------------|---|
| <p>1 近年の選挙投票率低下と若者の選挙離れについて</p> | <p>選挙の投票率低下は本町のみならず全国的にも低下の一途をたどっています。特に若年層の投票率の低下が著しく、2016年(H28年)7月の参院選挙から選挙年齢が「18歳以上」に引き下げられましたが、国政選挙の年代別投票率は2021年(R3年)10月に行われた衆院選挙では、10代が43.21%、20代が36.5%、30代が47.12%であり、全年代の投票率は55.93%となっています。</p> <p>また、2019年(R1年)7月参院選挙では、10代が32.28%、20代が30.96%、30代が38.78%全年代の投票率48.80%です。</p> <p>いずれの選挙でも他の年代と比べ若年層の投票率は低い水準に留まっています。</p> <p>今夏、参院選が予定されていますが、本町としても投票率の低下、若年層の投票率が懸念されるところであります。若者の政治離れなど全国的に投票率の低下が問題視されている中、行政も今までの結果を検証し、投票率を上げる手立てを講ずる必要があるのではないかと感じます。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>① 近年の国政選挙での本町有権者数、投票者数、投票率 10代、20代のみの有権者数、投票者数、投票率は。</p> <p>② 投票率向上に向けて行政としての具体的な取り組みが行われているのか。</p> <p>③ 今までの国政選挙や地方選挙において投票率について</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>2 小中学校施設の整備について</p> | <p>てどのように分析しているのか。</p> <p>④ 今後、高齢化する有権者にとって投票しやすい環境づくりが必要と考えるが、その対策は。 また、若い有権者の投票率向上に向けての啓発活動、対策の考えは。</p> <p>⑤ 今後、教育現場での主権者教育の取り組みの在り方は。</p> <p>学校施設の老朽化が進む中で、子どもたちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽対策は喫緊の課題です。 国では2050年のカーボンニュートラルの実現を目指し、地域における脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備を推進するため、文部科学省は学校施設整備事業として「持続可能な教育環境の整備」を推進していますが、本町の教育現場の環境整備の進捗状況をお伺いします。</p> <p>① 学校施設の老朽化対策について。 ② 避難所としての防災機能強化については。 ③ 脱炭素化に向けた施設整備について。</p> |
|------------------------|---|

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。